

# 平成19年度・20年度局・区実施プランにおける自治基本条例の具体化に向けた取組について

## 1 条例の具体化に資する事業の概要

条例の具体化に向けて20年度に計画されている事業数は、**538事業**（19年度の約1.4倍）

【表1】

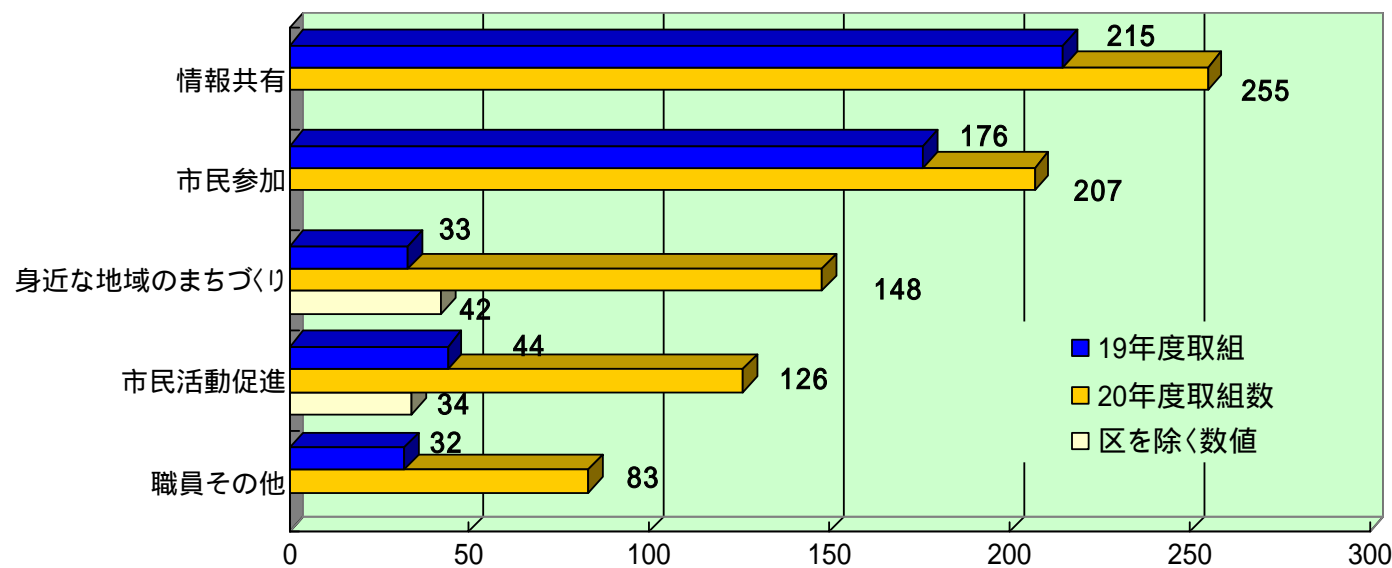
	事業数	メニュー別取組数
局	296	393
H19	225	303
区	242	426 (228)
H19	153	197
合計	538	819 (621)
H19	378	500

1 ( )内は、区における「地域のまちづくり」及び「市民活動促進」の取組を除いた数

## 2 メニュー別取組数

条例の具体化に向けて20年度に計画されている取組数は**延819**（19年度の約1.6倍）  
 情報共有の取組が最も多く255項目予定されている。

メニュー別取組状況(H19-20比較)



【表2】

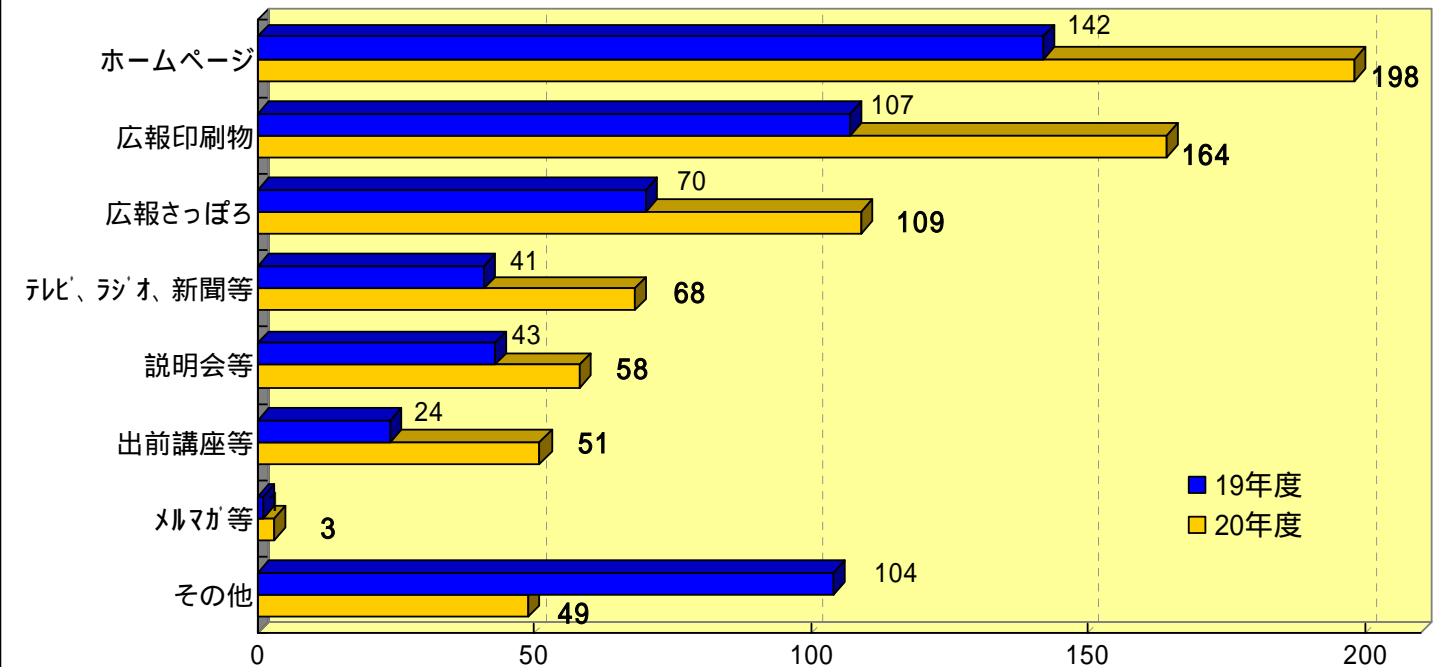
	情報共有	市民参加	地域のまちづくり	市民活動促進	職員に関する取組	その他
局	156	109	42	34	45	7
H19	122	92	33	44	-	12
区	99	98	106	92	29	2
H19	93	84	-	-	-	20
合計	255	207	148	126	74	9
H19	215	176	33	44	-	32

- 2 一つの事業で複数の取組を実施するものがあるため、事業数と取組数は一致しない。
- 3 区においては、実施プランに計上しているほとんどの事業が「身近な地域のまちづくり支援」「市民活動促進」に該当するため、19年度はこれらの事業をカウントしていない。なお、比較のためグラフ上は20年度についてもそれらを除いた数値を再掲。
- 4 19年度は職員に関する取組をその他としてカウントしている。

## 3 情報共有の手法数

情報共有のために計画されている手法は**延700**（19年度の約1.3倍）  
 ホームページの活用が198と最も多く、情報共有を目的とした取組255件のうち約8割で活用。

情報共有手法(H19-20比較)



【表3】

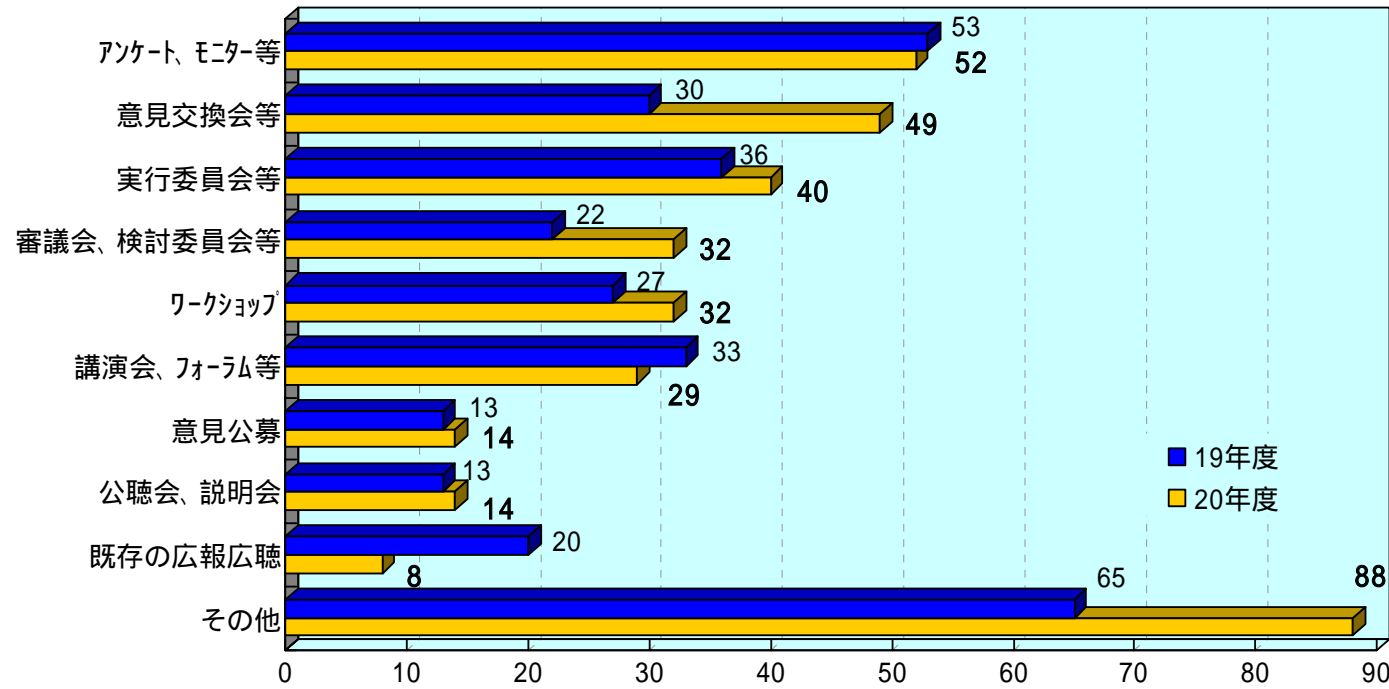
情報共有手法	H20手法数	H19手法数	H20の手法の具体例
1 ホームページ	198	142	「手稲区歴史資料データベース」を公開するページの開設等
2 広報印刷物	164	107	平成19年度に策定した「スリムシティさっぽろ計画」の分かりやすい冊子の作成等
3 広報さっぽろの活用	109	70	「食の安全ミニ知識」等による情報提供(区版特集年1回、ミニ年5回)等
4 テレビ、ラジオ、新聞等	68	41	地域活動応援番組「愛らぶサッポロ」の放映、コミュニティFM 6局の合同放送番組等での防災情報の提供等
5 説明会、学習会	58	43	各地域へ出向いての地域住民との情報共有、情報交換等
6 出前講座	51	24	「まち本」や「ミニまち」を活用した出前講座の実施等
7 メール等	3	1	サポートほっと基金に関する情報提供(キャッピーつうしん)等
8 その他	49	104	・市民参加型のイベント(紙芝居等発表会等)を開催し、市民との情報共有を推進、 ・施設を活用した情報発信(講座や勉強会、パネル展示、施設見学会など)
合計	700	532	

一つの取組で複数の手法を活用しているものがあることから、情報共有の取組数(255)と各手法の合計とは一致しない。

### 4 市民参加の手法数

市民参加のために計画されている手法は延358（19年度の約1.1倍）  
アンケート調査やモニター制度により市民ニーズを把握する取組が52と最も多く、市民参加を目的とした取組207件のうち1/4で活用。

市民参加手法(H19-20比較)



【表4】

市民参加手法	H20 手法数	H19 手法数	H20の手法の具体例
1 アンケート、モニター制度等	52	53	イベント参加者や施設利用者等に対するアンケート調査の実施、モニター制度など
2 意見交換会、懇話会等	49	30	多様な意見を広く把握するための幅広い参加者が意見交換できる懇談会や説明会の実施など
3 実行委員会、運営委員会等	40	36	多様な主体と協働で事業運営などを行うための、イベント等実施にあたっての実行委員会等を設置など
4 審議会、検討委員会等	32	22	政策立案に市民意見を反映させるための会議の設置。審議会等への公募委員の導入など
5 研究集会、ワークショップ	32	27	土砂災害危険箇所を含むモデル地区を対象とした、土砂災害ワークショップ等の実施など
6 講演会、フォーラム、シンポジウム等	29	33	市民のまちづくりへの参加意識を高め、問題意識等を喚起する講演会・フォーラム・シンポジウムの開催など
7 意見公募、パブリックコメント	14	13	消費者基本計画等の策定にあたっての市民意見反映を目的としたパブリックコメントの実施など
8 公聴会、説明会	14	13	学校や市住等の公共施設を建設する際の計画・設計の初期段階からの地元説明会等を実施など
9 既存の広報広聴制度活用	8	20	タウントーク、出前トーク、市政相談など既存の広報広聴制度を活用して市民間、意見把握を行うもの
10 その他	88	65	市民会議、子ども議会、子どもサミットの開催、障がい者による政策提言サポーター制度など
合計	358	312	

一つの取組で複数の手法を活用しているものがあることから、情報共有の取組数(207)と各手法の合計とは一致しない。

### 5 20年度新規事業等の概要

20年度の新規事業は538事業中68事業(約13%)

【表5】

	事業数 A	うち新規 B	B/A(%)
局	296	44	14.9
H19	225	50	22.2
区	242	24	9.9
H19	153	38	24.8
合計	538	68	12.6
H19	378	88	23.3

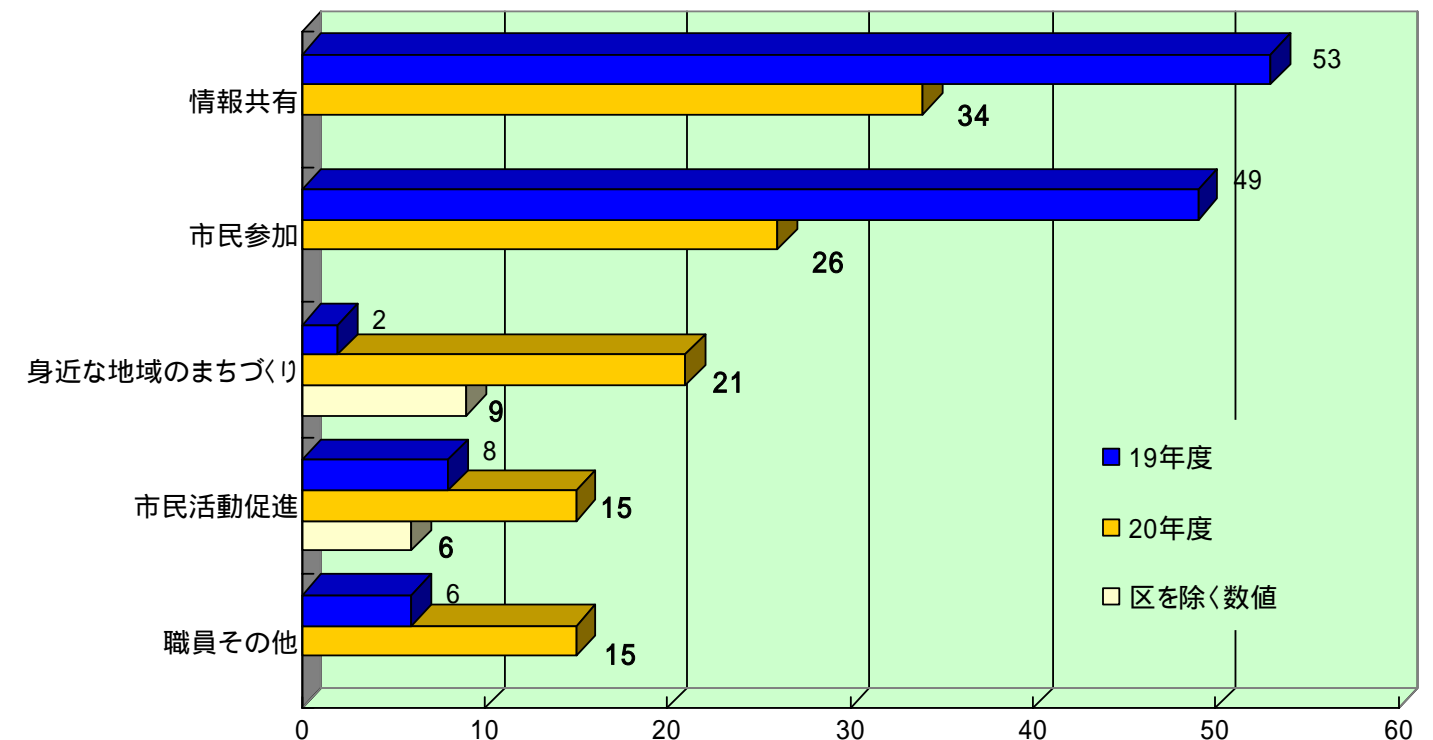
メニュー別の取組では情報共有が34と最も多い。  
庁内の情報共有や職員研修の充実など職員に関する取組が19年度に比べ増加している。

【表6】 新規事業のメニュー別取組状況

	情報共有	市民参加	地域のまちづくり	市民活動促進	職員に関する取組	その他	計
局	22	17	9	6	11	0	65
H19	28	24	2	8		2	64
区	12	9	12	9	4	0	46 (25)
H19	25	25	-	-		4	54
合計	34	26	21	15	15	0	111 (90)
H19	53	49	2	8		6	118

- 5 一つの事業で複数の取組を実施するものがあるため、事業数と取組数は一致しない。
- 6 区においては、実施プランに計上しているほとんどの事業が「身近な地域のまちづくり支援」「市民活動促進」に該当するため、19年度はこれらの事業をカウントしていない。なお、比較のためグラフ上は20年度についてもそれらを除いた数値を再掲。
- 7 19年度は職員に関する取組をその他としてカウントしている。
- 8 20年度の合計欄( )内は区における「地域のまちづくり」「市民活動促進」のメニューを除いた数値

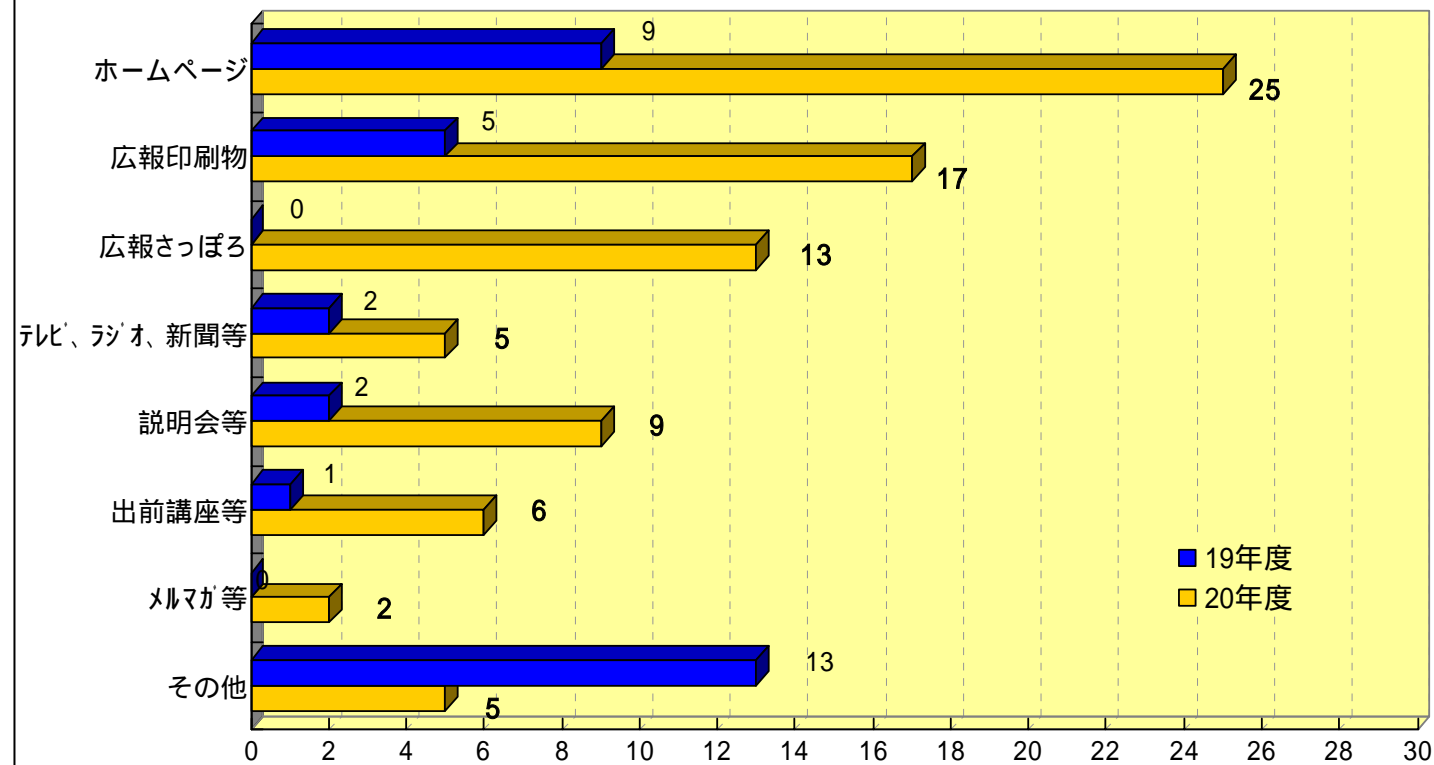
新規事業のメニュー別取組(H19-20比較)



【表7】 新規事業の情報共有手法の状況

情報共有手法	H20 手法数	H19 手法数	H20の手法の具体例
1 ホームページ	25	9	社会福祉法人、社会福祉施設等に対する指導監査に関するページの新設等
2 広報印刷物	17	5	福祉のまち推進センターの取組事例を紹介したパンフレットや地域の支えあい活動を紹介したチラシの作成等
3 広報さっぽろの活用	13	0	「食の安全ミニ知識」等による情報提供(区版特集年1回、ミニ年5回)等
4 テレビ、ラジオ、新聞等	5	2	サポートほっと基金についての新聞等を活用した情報提供等
5 説明会、学習会	9	2	各地域へ出向いての地域住民との情報共有、情報交換等
6 出前講座	6	1	市民まちづくり活動促進条例についての出前講座などを活用した情報提供等
7 メール等	2	0	サポートほっと基金に関する情報提供(キャッピーつうしん)等
8 その他	5	13	緊急地震速報等の市有施設への伝達方法や効果的活用を検討
合計	82	32	

新規事業の情報共有手法(H19-20比較)

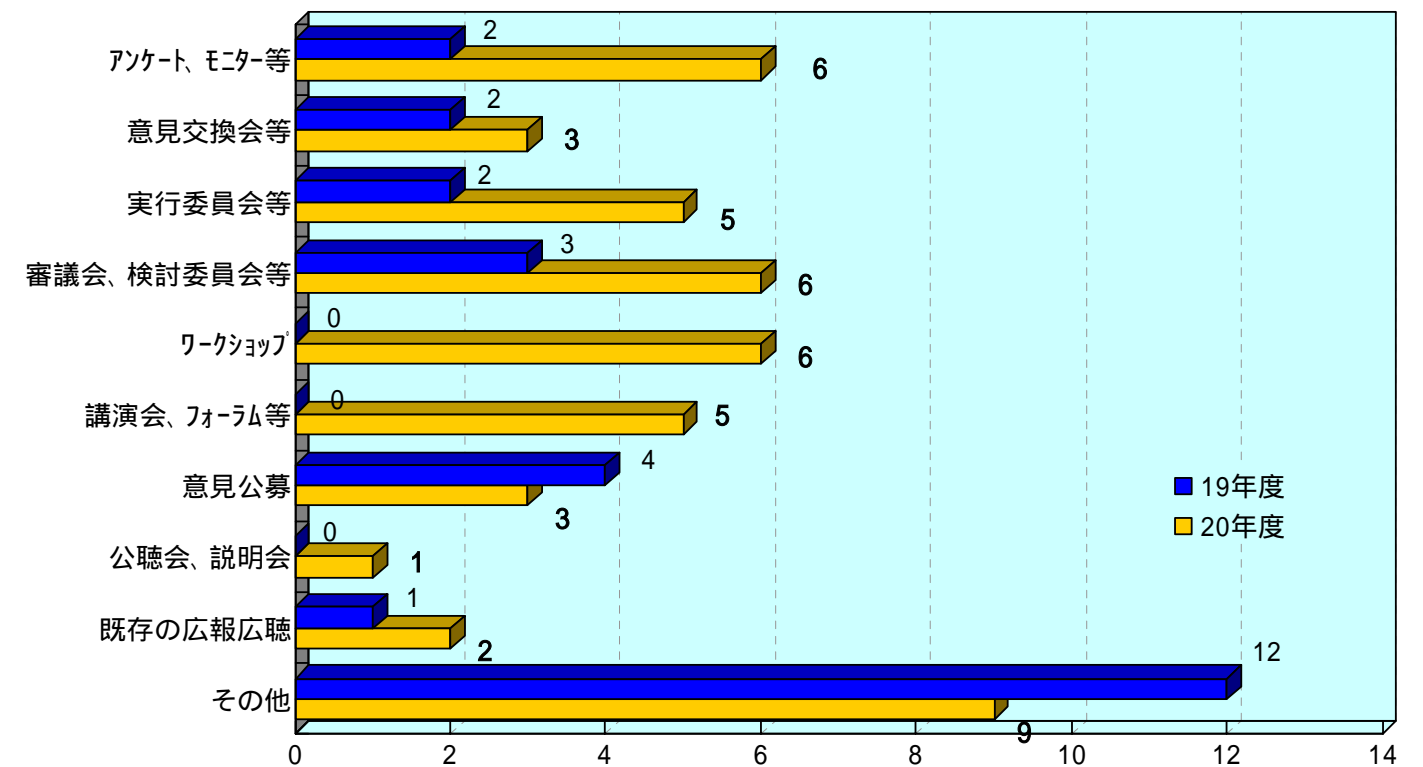


一つの取組で複数の手法を活用しているものがあることから、情報共有の取組数(34)と各手法の合計とは一致しない。

【表8】

市民参加手法	H20 手法数	H19 手法数	H20の手法の具体例
1 アンケート、モニター制度等	6	2	区ガイドや広報さっぽろ区版についてのアンケートの実施等
2 意見交換会、懇話会等	3	2	福祉施設に隣接する公園の施設利用者と地域住民による利活用の検討の実施等
3 実行委員会、運営委員会等	5	2	JCとの協働での市民まちづくりフェスタの開催等
4 審議会、検討委員会等	6	3	審議会での検討にあたって、調査研究機関として学生を含めたワーキンググループの設置等
5 研究集会、ワークショップ	6	0	土砂災害危険箇所を含むモデル地区を対象とした、土砂災害ワークショップ等の実施
6 講演会、フォーラム、シンポジウム等	5	0	福まち事業をPRする福まちウィーク(9月16日～22日)を創設し、活動を紹介したパネル展やフォーラムを開催等
7 意見公募、パブリックコメント	3	4	消費者基本計画策定の策定にあたり、市民意見を反映するため、パブリックコメントを実施
8 公聴会、説明会	1	0	アイコモンズサミット関連事業等
9 既存の広報広聴制度活用	2	1	出前講座などを活用した福まち事業のPR等
10 その他	9	12	特別な予算配当により、地域と連携した植樹の推進等
合計	46	26	

市民参加手法(H19-20比較)



一つの取組で複数の手法を活用しているものがあることから、情報共有の取組数(26)と各手法の合計とは一致しない。

## 5 20年度新規事業の具体例

事業名	事業内容	取組メニュー	局
総務局「ECO-PRO」宣言	「総務局ECO-PRO(エコ・プロ)宣言」をし、総務局の全職員が一丸となってエコ行動を推進(プロモーション)する。 エコ行動の取り組み項目を決定する過程で局内での意見を募集するなど、職員間のコミュニケーションを大切にしながら、行動を拡大する。	職員に関する取組	総務局
犯罪のない安全で安心なまちづくり推進(条例制定)	「(仮称)札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」の制定にあたり、検討懇談会の委員の一部公募やパブリックコメントの実施等、市民の意見を広く聞けるような機会を設定。	市民参加	市民まちづくり局
安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業の実施	食産業や観光の振興も視野に入れた総合的な食の安全・安心に関する施策の策定に向け、外部委員による懇談会で、施策の方向性についての検討を行うとともに、食に関する調査を実施。	市民参加	保健福祉局
社会福祉法人・社会福祉施設に関する情報提供の充実	市民の皆さんがより適切に福祉サービスを選択し、利用することができるよう情報提供を一層充実するため、社会福祉法人、社会福祉施設等に対する指導監査に関するホームページを新設。	情報共有	保健福祉局
地域環境美化の推進	クリーンさっぽろ衛生推進協議会を中心とする地域によるごみステーションなどの環境美化を推進するため、地域活動支援のあり方について検討。	地域のまちづくり支援	環境局
福祉と多世代のふれあい公園づくり事業	障がいがある方などの福祉施設に隣接する既設公園について、施設利用者と地域住民による利活用検討を踏まえて施設を整備。 子育て支援の充実を目的として、子育てサロンと隣接する既設公園に、乳幼児キッズコーナーを整備。	市民参加	環境局
木立を感じる街づくり事業	家庭での植樹を通してみどりのボリュームアップを図るとともに、市民の緑化意識の高揚を目指して「一家庭一植樹運動推進事業」を実施。 地域住民と札幌市が「緑の協定」を締結し、共にみどりを増やす活動を推進。	・地域のまちづくり支援 ・市民まちづくり活動の促進	環境局
スポーツ施設のあり方についての検討等	今後のスポーツ施設のあり方についてスポーツ振興審議会へ諮問。 諮問に対する調査研究を行う機関とし、学生を含めたワーキンググループを設置。	市民参加	観光文化局
学校・みどりのふれあい推進事業	児童生徒や保護者及び地域住民との連携による植樹を計画する学校に特別な予算措置をすることにより、地域と連携した取組を促進。	・市民参加 ・地域のまちづくり支援	教育委員会
選挙人名簿の抄本の閲覧状況に係る情報提供	情報提供の充実を図るため、ホームページに選挙人名簿の抄本の閲覧状況を新設。	情報共有	選挙管理委員会

事業名	事業内容	取組メニュー	局
不在者投票施設の一覧のホームページへの掲載	市民サービスの向上を図るため、ホームページに施設内で不在者投票を行うことができる施設の一覧を新設。	情報共有	選挙管理委員会
食の安全・安心を区民の皆さんとともに(知って得る食品衛生知識)	区民にわかりやすく利用しやすい情報を提供するため、目標値を明示。 食品衛生に関する研修会、講習会 25回実施 ・業者向け 20回 ・区民向け(低年齢児童含む) 5回 「食の安全ミニ知識」等による情報提供 ・区ホームページ 年6回 ・広報さっぽろ中央区版 特集 年1回、ミニ 年5回	情報共有	中央区
若手職員による窓口案内体験研修の実施	若手職員を対象に、市民とのコミュニケーション能力や接客技術の向上、担当職場以外の幅広い知識を共有することなどを目的として、接客マナーに関する講習会と窓口案内体験を内容とする研修を実施。	職員に関する取組	北区
まちづくりセンター国保出張相談会	職員が遠隔地域に直接出向いて納付相談を実施することにより、折衝機会の確保と市民サービスの向上を図るため、まちづくりセンター等における国保出張相談会を実施。	その他	東区
白石区地域診断事業の実施	次のとおりモデル地区における地域診断を実施。 ・地域住民による地域資源や課題などの現状診断と地域カルテの作成を、アドバイザー(委託)やまちづくりセンター、地域振興課等が支援。 ・地域住民によるワークショップを開催し、カルテに基づき地域課題等について情報共有を図るとともに、今後の方向性を検討。 ・課題解決に向けた具体的な活動等の指針とするため、結果を報告書として整理。	・情報共有 ・市民参加 ・地域のまちづくり支援	白石区
広報媒体の充実	ホームページの利用促進を図るため、携帯電話利用者向けサイトについて検討。 利用者アンケートを活用し、厚別区ガイド(改訂版)を改善。 アンケートを活用し広報さっぽろ区版を改善。	・情報共有 ・市民参加	厚別区
地域との協働による健康づくり	町内会や健康づくり自主活動グループなどと連携・協働してウォーキング会を開催し、健康づくり団体同士の交流を進める中で健康づくり活動等を紹介する情報誌を協働で作成。	・情報共有 ・市民参加	西区
小樽市・石狩市との交流事業	小樽市、石狩市との情報交換、情報共有の促進に向け、定期的に両市との会議を開催。 安全・安心なまちづくりに向けた取組みや経済・文化・スポーツ交流などを通じた、小樽市、石狩市の住民との更なる交流促進支援。	・地域のまちづくり支援 ・その他	手稲区